

## 第4回 魅せる庭へ:ガーデナー

(社)兵庫県造園建設業協会 ※大谷 芽衣子

早いもので、1年間の連載も最後となりました。改めて魅せる庭とは何なのか、考えています。デザイン？植物の種類？それとも多様さ？でしょうか。どれも間違いではありませんが、あっているとは言えない気がします。では何なのでしょう。

私は植物の生育状態ではないか？と考えています。元気に育っている様、花をこぼれんばかりに咲かせている姿などは、気持ちのいいものです。

また、このような庭を管理するガーデナーの力量に惚れます。庭を知り尽くし、植物の成長を予想し、先手を打って植物を管理するからこそ、生き生きとした庭が実現します。

ではガーデナーとして腕を上げていくにはどうするべきなのでしょう。3つ挙げてお話ししたいと思います。

### その1) 観察

植物は花を咲かせたり、実を付けたり、紅葉したりと、季節ごとに表情を変えます。ですから植物を観察し、生育状況又は、生育の様子を知ることがとても重要です。特に近年では夏の猛暑など、想定していない環境になるので、観察から得られる情報は貴重です。

例えば昨年夏の猛暑では、普通では日当たりを好むサルビア・スプレンドゥスが夏場に花をつけませんでした。1月まで葉を繁らせ、結局花を咲かせました。この経験はいつ、どこへ植えるべきか見直すとても良い参考になっています。



例：真夏に花が無く萎縮しているサルビア

植物と環境の相性を見極めるためには、図鑑ではなく観察から得た知識が最も役立ちます。

### その2) 緑の指

「植物が美しく育つのは、緑の指を持っているからだ」という緑の指とは、植物を育てる才能のある人のことで、緑に染まるほど長く植物をいじっていることからこう言われています。ガーデニングは長い時間を

庭で土にまみれながら植物と過ごしますが、経験から学ぶことが殆どです。

例えばブルンバゴの花は粘ついて服に付くので、人に当たらないように強剪定したところ、そこからたくさん枝が出て次々に花を咲かせました。面白いので花の時期になると荒っぽく剪定して楽しんでいます。

まずは植物の生命力を信じて大胆に試してみてください。



例：1ヶ月前に剪定したブルンバゴ。何倍にも成長し花をつける

い。何より、手をかけると正直に伝えてくれる花々は、面白くていじらしく、可愛くてたまりませんから。

### その3) 新しいもの好きになる

新しい品種、新しい寄せ植えなど、新しいことをする時は勇気が要ります。花屋で見つけた新しい苗は、売り場の人に育て方を教えてもらっても、うまく成長するかはわかりません。けれどやってみないと分からないのも植物を育てる醍醐味。どんどん新しいことにチャレンジして知識を蓄えましょう。



例：色の組み合わせが喧嘩する桃と赤をあえて一緒に植えた様子

以上3つは、改めて言うほどでもない基本ですね。けれどいつの時も重要だと思います。「好きこそ物の上手なれ」植物が好きだから

こそ良く観察し、触れ、チャレンジする。これがガーデナーとしての腕を磨いてくれます。

※関西造園土木株動務・兵庫県立淡路景観園芸学校第5期卒業

# ガーデニングクラブの紹介

## 西宮市立段上小学校園芸美化ボランティア (西宮市) 水田昌幸・水田由紀子

### ○発足の経緯

約8年前に勤めていた会社を退職し、何かボランティアを始めたいと考え、子どもたちが卒業した段上小学校で園芸美化のボランティアとして夫婦でお世話になることになりました。それ以来、子ども好きな私たちは、楽しく学校に行かせて頂いております。

### ○活動内容

最初の年は家で作った花苗を学校に運んで植えていましたが、翌年からは学校で種まきするようになりました。種まきからの育苗は手間がかかり目が離せませんが、できるだけ経費をかけないように、種も自家採取で愛情をかけて



お花のお世話は楽しいな!

育てています。年間5000ポットの苗を作り、大小15個の花壇や300あるプランターに植えつけています。卒業式にはサクラソウを、入学式にはチューリップを、音楽会にはコスモスをと、年間行事に合わせて種まきや植え付けをしています。

普段の花の世話は二人でしておりますが、PTAの美化委員の方たちが草引きや夏休みの水やりを手伝って下さいます。また年に2回のメイン花壇の植え替えの時は、子どもたちが喜んで古いお花を撤去し、



おかあさんたちもお手伝い

草引きもしてくれます。

目標は四季を通じて校庭を花いっぱいにする事です。私たちがリタイアした後の後継者を育てることが今後の課題です。

## 上西花の会 (明石市)

代表 穂原 信一

### ○発足の経緯

人と人がつながり、安心して暮らせる思いやり溢れる地域づくりを目指し、平成18年11月に25名のメンバーで、「門前花いっぱい運動推進委員会」を設立しました。平成21年には、「上西花の会」と改名しました。



会員の励みになっています。それと並行して、一年を通して各家庭の門前に一鉢の花、一基のプランターを置く運動を進めています。地域内の幹線道路に面した家庭の塀沿いには約300基のプランターを置いています。

### ○活動の成果

この運動を通して、地域が美しくなり、花壇の前での花談義から人々のつながりが広がったり、道行く方から心が癒やされるとの声が寄せられるなど、地域内に明るい雰囲気醸し出されるようになりました。会員たちの地道な活動により、地域作りが着実に進められ、4年目にして大きな成果を上げています。

### ○活動内容

誰もが憩える花いっぱいの公園、道行く人を和ませるプランターの列、丹精込めて作られた庭、年代を感じさせる前栽。これらを多くの人に楽しんでいただこうと、平成20年より春ごとにオープンガーデンとして、12軒の庭と6つの公園を公開し、毎日多くの見学者が来訪されます。昨秋はまちなみガーデンショーのサテライト会場として協力しました。笑顔と共に「来年も楽しみにしています」との嬉しいお言葉を頂くことが、



## ねひめ 根日女花俱樂部(加西市)

代表 北川 克則

### ○発足の経緯

1993年、(社)加西青年会議所が「花いっぱい運動」の一環として、加西インター周辺の緑化活動を始めました。その活動は、地域の方々と協働して続けられました。そして2003年、加西市内でガーデニング活動をされていたご婦人方と行政の若手職員、青年会議所会員及びそのOB会員とが協力して根日女花俱樂部を発足させ、各人が会員登録し、活動を始めました。

### ○活動内容

活動の中心は、加西インター前のロータリー花壇とインター南部800mの沿道花壇の緑化です。

他に、「寄せ植え出前講座」、「布ぞうりづくり講



沿道花壇の花植え活動

座」などを開催したり、各地花壇の花植えの応援に出かけたりして、加西市内全域の花いっぱいを目指して、いろんな活動への支援協力も行っていきます。

沿道花壇は、距離が長いので苦勞しますが、それぞれ持ち前の「ガーデニングのノウハウ」と「機動力」とを活かし、助け合いながら日々活動しています。時



子どもたちと一緒に布ぞうり作り

には、会員のおばさまたちの『炊き出しカレー』を頂いたり、『バス旅行』で各地の活動を視察したりしながら、みんなが楽しめるようにもしています。

### 『出来る時に 出来るだけ』

— ひとりの小さな力が みんなの大きな力 —

これをモットーに、出来るだけ多くの参加者を呼びかけています。

## ひとひらの花グループ(たつの市)

代表 山口 康子

### ○発足の経緯

私が55歳の頃、定年後何をしようか考え始めました。そこへ友人から、「チューリップを植えてみたら？」と提案がありました。政府の減反政策で草まみれに放置された私の田。迷いはありましたが、平成7年11月、思い切って球根800球を購入して、6.5aの休耕田に植えてみました。

そしたら見事に咲いたのです！草ばかりだった田にチューリップが咲いた時は、地域のみなさんがびっくりしました。



ひろびろとしたお庭で、楽しい園外学習

### ○活動内容

減反田なので草が多く、草引きをしていると、私も手伝う、私も・・・と発足2年目には6名になりました。名前は、ほんのひとひら(6.5a)の場所だけできいな花を咲かせようとみんなで名付けました。

今ではグループ員は15名に増え、毎週日・木曜の午前中に作業をしています。大きな台風があり、心が

くじけそうになった時もありましたが、そんな苦勞も乗り越え、「継続は力なり」を実感しています。

香島幼稚園の園外学習も毎年受け入れて、児童との交流を楽しんだり、作業後にあずま茶屋でお茶を飲んだり、交流の輪を広げています。

2004年ひょうご花と緑のコンクールコミュニティ部門で知事賞、2010年「みどりの愛護」功労者国土交通大臣賞を受賞したことは大きな励みになりました。来る4月17日には第11回下笹花まつりとしてオープンガーデンを開催します。地域や遠方から見に来られる方々に少しでも喜んで頂けるよう、案を練っています。



花まつりを盛り上げる地元新龍太鼓の皆さん

# 家庭菜園を楽しむ 第4回

兵庫県立農林水産技術総合センター  
技術参与 大西 忠男

## 1 キャベツの仲間

キャベツはアブラナ科の野菜で、種類は外観や葉の形状から寒玉系、春系と葉が縮緬状のサボイキャベツがあります。仲間には、ケール、コールラビ、ブロッコリー、カリフラワー、子持ち甘藍、ハボタンなどがあります。寒玉系キャベツ、コールラビは紫色のもあります。カリフラワーは紫色、黄色のものやミナレットタイプのものがあります。キャベツの仲間には、葉の色や形がおもしろいケール、コールラビなどガーデニングに利用できる野菜もあります。

## 2 キャベツの品種と作型

キャベツの原産地は、地中海沿岸やヨーロッパの海岸地域で、日本へは明治時代に入ってきました。

栽培には、排水性、保水性のよい土壌がよく、好適酸度pH6.0～6.5です。

発芽適温は、15～30℃、生育適温は、15～20℃で冷涼な気候を好み、高温では結球不良となり、病害虫の発生が多くなります。低温には強いですが5℃以下では生育が進みません。

花芽は、ある程度大きくなった苗が一定以上の低温にあうと分化し、分化後は温暖長日条件で抽苔が促進され開花します。

兵庫県でのキャベツの作型を図に示しましたように、10月から翌年の6月まで収穫する4つの作型があります。年内穫りでは定植後約60日で、冬穫りでは約100日で収穫できます。春、初夏穫りでは、定植後越冬しますが、生育状況により花芽分化の恐れがありますので、品種の選択、播種時期を誤らないことが重要です。

## 図 キャベツの作型と品種

作 型	品 種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
年内穫り	YR泰山・松波・凜・エンペラー							▲	●		□	□	□
冬穫り	夢舞台・彩ひかり	□	□	□	□	□	□		▲	●			□
春穫り	味春・石井中早生					□	□				▲	●	
初夏穫り	SE・YRのどか		●				□	□			▲		

凡例: ▲:播種 ●:定植 □□:収穫 ----- 育苗期間 ——— 栽培期間

斜体文字はサボイ、**太字**は春系



寒玉系キャベツ



春系キャベツ



サボイキャベツ



コールラビ





### 3 キャベツの機能性

キャベツは胃腸を丈夫にするビタミンUを含んでいることが特長です。それ以外にもビタミンK、ビタミンC、植物繊維、果糖、ブドウ糖、蔗糖を多く含み、カロテン、必須アミノ酸やカルシウムも豊富です。キャベツに含まれるイソチオシアネートは米国立がん研究所のデザイナーフーズ計画でがん予防の可能性がニンニクに次いで2番目に高い野菜として挙げられています。

### 4 播種の方法、苗の選び方

キャベツは育苗を行ってから本田に移植をします。育苗はセルトレー、ポリポリポットなどを用い、育苗用の培土は市販のものを用いるのが便利です。

苗を購入する場合は、子葉がついていて、茎が太くガッチリして、葉がのびのびと開き、病害虫がついていないものを選びます。

### 5 定植準備、定植

耕耘畝たて前に堆肥、消石灰などの土壌改良資材、元肥を施用し、土とよく混ぜ、畝幅120cmの畝を作ります。

全施肥量は、1㎡当たり成分量で窒素、リン酸、カリ各30~40gで、各成分を14%含む肥料では、214~285gが全施肥量になります。元肥の量は全施肥量の1/2~1/3を施用し、残りは追肥とします。

畝幅120cmでは、株間35~40cm、2条植えとし、条間は30cm程度に植えます。

(1㎡当たり約4株栽培) 定植後は十分灌水し、活着を促進します。

### 6 中耕除草・土寄せ、追肥

定植後約20日頃で外葉が畝の上を覆う頃までに、条間を耕し浅い溝を掘ります。また肩の土を削り鍬で土寄せをします。この作業は土を削ることにより小さな雑草を枯らすためです。

1回目の追肥は、条間に掘った溝に施します。2回目の追肥20日後頃に谷の部分に施用します。春穫りの追肥は、3月下旬、初夏穫りでは3月下旬、4月中下旬に施用します。

### 7 病虫害防除

キャベツ栽培で問題になるのはアオムシ、ヨトウムシ類です。農薬に頼らない方法としてネット被覆があります。被覆のコツは害虫が侵入しないように張ることです。また、越冬作型では早春のヒヨドリ対策としてこのネット被覆が利用できます。

農薬を使用する場合は、登録のある農薬を正しく使いましょう。

### 8 収穫

結球部分を上から押さえて堅く巻いているものから収穫します。



茎ブロッコリー



カリフラワー  
(ミナレットタイプ)



子持ち甘藍



カーボロネロ(黒キャベツ)



# 2011年 春のオープンガーデン情報

4月から6月にかけて兵庫県下で開催されるオープンガーデンの日程をご案内します。  
詳細は各主催団体にお問い合わせ下さい。

名称	地域	日程	問い合わせ先
1 花ハート神戸 オープンガーデン '11	神戸市	4月23日(土)～25日(月) 5月28日(土)～30日(月) 10時～16時 雨天決行	花と緑のまち推進センター ☎ 078-351-6756 FAX 078-341-8710
2 芦屋市オープンガーデン2011	芦屋市	4月16日(土)～4月29日(金・祝) 10時～16時	芦屋市公園緑地課 ☎ 0797-38-2065 FAX 0797-38-2163
3 宝塚オープンガーデンフェスタ 2011	宝塚市	4月22日(金)～27日(水) 10時～16時	あいあいパーク オープンガーデン係 ☎ 0797-89-5933 FAX 0797-82-3571
4 宝塚オープンガーデン	宝塚市	4月20日(水)～26日(火)	宝塚オープンガーデンの会 遠藤☎&FAX0797-87-0761
5 三田まちなみガーデンショー オープンガーデン (三田市では、三田まちなみ ガーデンショーの中で実施)	三田市 神戸市北区 西宮市 山口町	三田市 5月28日(土)29日(日)9時～17時 西宮市山口町・神戸市北区 6月4日(土)、5日(日)9時～17時	三田花と緑のネットワーク 黒木☎090-5067-9620 FAX079-564-5220
6 オープンガーデン伊丹	伊丹市	4月16日(土)～5月15日(日)	大池橋ミニバラ公園グループ 三上☎090-3629-1827 FAX072-785-1827
7 第8回 さわやかオープンガーデン	川西市 猪名川町	5月20日(金)、22日(日)、24日(火)	NPO法人 さわやか緑花クラブ ☎&FAX072-766-1554
8 第4回 上西二見オープンガーデン	明石市	4月29日(金・祝)～5月1日(日) 10時～16時	明石市立上西厚生館 ☎&FAX078-942-2015
9 多可オープンガーデン2011	多可町	4月24日(日)～5月22日(日) お庭ごとに公開日設定あり。	多可町観光交流協会 ☎ 0795-32-2388 FAX 0795-32-4778
10 中播磨オープンガーデン	姫路市 神崎郡	前期 4月22日(金)～24日(日) 後期 5月20日(金)～22日(日)	中播磨オープンガーデン事務本部 ☎&FAX0790-22-1784
11 まちなみガーデンAIOI	相生市	5月20日(金)～5月23日(月) 10時～16時	相生市まちづくり推進室 ☎ 0791-23-7130 FAX 0791-23-7137
12 オープンガーデンinたつの	たつの市 新宮町	4月9日(土)～4月17日(日) 10時～16時	たつの市役所町並み対策課 ☎ 0791-64-3167 FAX 0791-63-2596
13 あさごオープンガーデン	朝来市 (旧朝来町内)	5月20日(金)～5月24日(火)	朝来公民館 ☎ 079-677-1165 FAX 079-677-1513
14 たんばオープンガーデン	丹波市 篠山市	丹波市 4月24日(日)、25日(月) 篠山市 5月22日(日)、23日(月)	丹波の森花くらぶ 松本 ☎ 0795-82-0038 FAX 0795-86-7018
15 訓谷オープンガーデン	香美町 香住区訓谷	4月23日(土)、24日(日) 9時～17時	訓谷オープンガーデンの会 ☎ 0796-38-0486
16 とよおかオープンガーデン	豊岡市 日高町	5月27日(金)～5月31日(火)	とよおかオープンガーデン 実行委員会 北井 進 ☎ 090-4569-9573 FAX 0796-42-1785
	豊岡市 (日高町以外)	6月3日(金)～6月7日(火)	
17 あわじオープンガーデン	淡路島内	4月23日(土)、24日(日) 5月21日(土)、22日(日) 各庭主さんにより実施日が違います ので、お問い合わせ下さい。	あわじオープンガーデン 実行委員会事務局 (ライアデザインショップ内) ☎ 0799-53-5880



平成22年度

# 花緑いっぱい運動推進

## 神戸地域



講師の加賀文代さん



ピンコロ石の角を合わせるのに一苦労!!



before

after

開催日：平成22年4月28日(日)

場所：県立舞子公園

テーマ：宿根草花壇をリメイクする

参加者：26名

講師：加賀文代(ひょうごガーデンマイスター)

内容：平成20年10月に花緑推進員研修会で植栽した花壇のその後の育成状況からリメイク実習を行いました。セメントを堅めにつくり、ピンコロ石を接着させて花壇の枠を作り、元々あった花と購入した花をうまく使って植えました。針金がゆがんで見苦しい状態だった花壇が見事に生まれ変わりました。

完成!!



1株ずつ丁寧に植えていきます

## 阪神北地域



講師の辻井玲子さん



真剣に植栽計画しています。



試しにポットを置いてバランスをみています



雨の中の作業だったので大変でした

開催日：平成22年10月25日(日)

場所：伊丹市立稲野小学校

テーマ：みんなで楽しむ学校花壇

参加者：75名

講師：辻井玲子(ひょうごガーデンマイスター)

内容：午前中、花壇を見学した後、植栽計画を立て、午後から実際に花壇に植えこみ実習を行いました。当日はあいにくの雨にも関わらず、75名もの方々に参加をしていただきました。キラキラいなの、キッチンガーデン、おはなばたけという3花壇の名前は事前に児童が考えてくれました。出来上がった花壇見た子どもたちの笑顔がとても印象的でした。



児童も大喜び

## 中・西播磨地域



講師の稲澤範治さん



フカフカの土をつくります

開催日：平成22年11月20日(水)

場所：兵庫県立国見の森

テーマ：自然に溶け込んだ花壇作り

参加者：31名

講師：稲澤範治(ひょうごガーデンマイスター)

内容：講義では土づくりや、花壇に植えこむ植栽の特徴や管理の仕方について学びました。講義の後6m×7mの花壇を土の種類や混ぜ方、木の植え方などの説明を交えながら作りました。花壇が完成した後、施設内のミニモノレールに乗って山頂へ行き、参加者たちの交流をはかり、楽しいひとときを過ごしました。



出来上がった記念に・・・



寄せ植えがアクセント



山頂での交流会のようす



# 員研修会及びワークショップ報告



講師の須藤健一さん



畦畔の草花を自然観察

## 丹波地域

開催日：平成22年11月15日(月)  
 場所：ハートピアセンター(篠山市)  
 テーマ：田んぼの草花へあなたのまなざしを  
 参加者：32名  
 講師：須藤健一(兵庫県立農林水産技術総合  
 センター農産園芸部 主任研究員)



スライドを見ながら



熱心に話を聞く参加者のみなさん



内容：各家庭でのオープンガーデンから一歩外へ出て、大きな観点から丹波の山、田、それにつながる農道(畦畔)に咲く四季折々の草花、雑草(野草)をスライドを見ながら話を聞いた後、実際に農道(畦畔)を歩いて観察会を行いました。最後に施設の周りにオキザリスなどの花を参加者で植えました。

## 淡路地域



講師の上田治子さん↑

開催日：平成22年12月19日(日)  
 場所：田井会館(淡路市)  
 テーマ：クリスマス&お正月飾りの寄せ植えを作って施設慰問をしませんか。

参加者：58名  
 講師：上田治子(ひょうごガーデンマイスター)  
 内容：高齢者施設、千鳥会ゴールドの利用者の方にも参加していただきながら、クリスマスとお正月に飾れる寄せ植えを作りました。その後、寄せ植えを持って施設を訪問しました。キラキラの飾りが目を引く寄せ植えにとても喜んでいただきました。

出来上がり作品



千鳥会ゴールドへ慰問しました。



楽しく寄せ植え作り

※北播磨地域は、3月12日に行われたため、記事が間に合いませんでしたので、ご了承下さい。

## ★第19回全国花のまちづくり三田大会のご案内

三田市で、「人と自然が輝くまち・三田」をPRするため、「全国花のまちづくり三田大会」が開催されます。  
 開催日：平成23年5月27日(金)、28日(土)  
 大会テーマ：「花いっぱい 緑いっぱい そんな三田に出会えます」  
 会場：三田市総合文化センター「郷の音ホール」  
 三田市天神1丁目3番1号 TEL 079-559-8100

主な内容：

<1日目>

基調講演 ポール・スミザー氏 「郷の音ホール」大ホール  
 緑化活動等の事例発表  
 交流会 まちづくり協働センター多目的ホール

<2日目>

現地見学会 市内緑化団体の活動場所、オープンガーデン、人と自然の博物館、有馬富士公園などを見学  
 その他、写真展示、講習会、三田の特産品販売、フリーマーケットなどの催しがあります。



花のまち三田 ← で検索

問い合わせ先：「全国花のまちづくり三田大会」実行委員会事務局  
 三田市三輪2丁目1番1号 三田市都市整備部公園みどり課 TEL 079-563-1111(代表)

## グリーンメッセージ

# 植物の不思議と面白さ —読書のすすめ—

(財)兵庫県園芸・公園協会理事兼  
花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎

春爛漫。春は、様々な植物たちが、山や里、そして公園や皆さんのお庭で新芽を出し、新しい枝葉を伸ばし、美しい花を咲かせて、我々を楽しませてくれるだけでなく、心を豊かにしてくれます。

ガーデニングや花と緑のまちづくりは、様々な植物を、その生育条件、色彩、かたち等を見極め、その場所に適合したデザインで植え込み育てることではありますが、皆さんは、植物の持つ特性や力を十分理解して使用されているのでしょうか。

今回は、植物のことが分かる面白い書籍を5冊紹介いたします。

### 1. 「植物の私生活」

デビット・アッテンボロー著 山と溪谷社

元BBCプロデューサーで大英博物館理事でもあるアッテンボローが、イギリスBBCの人気TVシリーズの中で、「The Private Life of Plants」を世界17カ国に放映し、大好評だった番組を本にまとめたものです。旅する植物ほか、はっと驚く植物の生態が紹介されています。



### 2. 「植物は人を操る」

いとうせいこう・竹下大学著 毎日新聞社

人間は、植物を利用しているように思っているが、実は、人間の方が植物に利用されているとの視点で、2人が対談する、大変、読みやすい本です。ベランダ（マンションのベランダでガーデニングする人）でもある、いとうせいこうさんの「ボタニカルライフ」（新潮文庫）もユニークな本で、いつも、通勤時に、ニヤニヤ笑いながら読んでいます。

### 3. 「植物の不思議パワーを探る」

松尾栄輔・正山征洋編著  
九州大学出版会

園芸療法や園芸福祉で著名な松尾栄輔さんと薬用植物の研究者である正山征洋さんが編集・記述したもので、植物による心身の癒しと健康について広範にまとめた本です。

### 4. 「植物は偉い！」

柳田 友邦著  
環境緑化新聞・インターアクション

植物大好き人間である柳田友邦さんが、植物の生きざまや利用法についてまとめた本で、「植物には地球を経営する能力がある」とあとがきで記述しているように、植物への深い愛情に溢れた本です。

### 5. 「植物という不思議な生き方」

蓮実香佑著 PHP研究所

身近にしながら、謎の多い植物の生き方について、植物を主人公にした物語にまとめて、植物の不思議な世界へ誘ってくれる本です。

「植物は逆立ちした人間である」古代ギリシャの学者アリストテレスの言葉らしいのですが、みなさんも植物ワンダーランドへ足を踏み入れてみては如何ですか？



## 季節の園芸相談

### セラスチュームの育て方

**Q** セラスチュームが倒れて横へ伸びていき、下葉が枯れてきますがどうしたらよいでしょうか。



**A** セラスチュームはナデシコ科の常緑多年草です。大きさは15～25cm、花期4～6月、銀葉。耐寒性は非常に強いですが、夏の暑さに弱いです。日当たりが良く、水はけの良いやせた土の場所を好みます。過湿と多肥が苦手な株が倒伏しやすいです。

伸びすぎた株は、早目に切り戻して姿を整えます。シロタエギクなどと比べて葉が小さく、繊細で花も楽しめます。花が終わったら株元から切り戻します。

**<ふやし方>** 種まき 9～10月頃

挿し芽は伸び過ぎて切り戻した株を5～6本頭をそろえて束ねます。寒さに強いので少し寒くてもつきます。ポットに植え、雨の当たらない半日陰の場所に移動しますと夏越しできます。

### アカンサス・モリスの増やし方

**Q** アカンサス・モリスの増やし方を教えて下さい。

**A** アカンサス・モリスは大型で迫力のある常緑性の多年草です。耐寒性、耐暑性そして乾燥に強く丈夫で、ほとんど手間がかかりません。草丈は90～150cmになります。開花期は5月～8月。花が一通り咲き終わったら、花茎を株元から切り落とします。

こうすることで余分な栄養が花茎に行かなくなり、次の花が咲きやすくなります。

**<栽培適地>** 日当たりのよい場所から、やや日陰の場所まで特に日当たりに気を使わずに育てることができます。ただし、日当たりが悪いと花付きが悪くなります。他の花と密植すると、周囲に覆いかぶさるように大きく茂るので、十分なスペースをとって植え付けます。

**<増やし方>**

適期は、春か秋、株分けもしくは根ぶせで増やすことができます。植え付ける時に切ってしまった根から芽



が出て来るぐらい強健です。たくさん増やしたいのであれば根ぶせが適します。根ぶせは根を掘り上げて5cmくらいの長さに切り、土の中に深さ5cmくらいに埋めておくだけです。

### 古い土を再利用するとき、簡単な方法

**Q** プランターや鉢植えに使った土を再利用したいが、どのようにしたらよいでしょうか。

**A** 植物の栽培に使用した古土は、水はけ、肥料分、病気の発生などで悪化していますので、これらを少しでも改善する必要があります。

- 1) 古土をよく乾燥させてから鉢から出し、スコップでよくほぐします。
- 2) 目の粗いふるいにかけて、根やゴミを取り除きます。
- 3) 目の細かい(1～2mm目)ふるいにかけて、みじんを取り除きます。ふるいに残った粒の大きい土を再利用し、みじんは処分します。
- 4) ふるった古土に3割ほど新しい土(赤玉土7、腐葉土3の配合など)を混ぜて使用します。

土壌改良は水はけ、水もち、通気性をよくするために大切な作業です(混ぜる割合は植物によって異なりますので、栽培の仕方や用土を確認してください。)

### 兵庫県からのお知らせ

**\*\* 「県民モニター」募集 \*\***

#### ★応募資格

県内在住又は在勤・在学でパソコンを使用できる18歳以上の方(本県職員を除く)

#### ★活動内容

県政に関するインターネット上のアンケートへの回答  
(回答いただいた方には、県立美術館等、県立施設の無料招待券を贈呈します。)

#### ★県民モニター募集ページからご応募下さい。

URL

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac20/monitor.html>

#### ★問い合わせ先 兵庫県広聴室広聴係

TEL 078 (362) 3021

E-mail [kocho@pref.hyogo.lg.jp](mailto:kocho@pref.hyogo.lg.jp)

# 県下の公園紹介

第8回



## 淡路島 国営明石海峡公園

淡路島国営明石海峡公園は、明石海峡を望む淡路島の北の端にあり、ジャパンフローラ2000（淡路花博）の会場にもなりました。春のチューリップ、ムスカリ（約300品種、60万球）をはじめ、四季を通じて多種多様な花をお楽しみいただけます。また、大阪湾や紀淡海峡を望む立地から多彩な眺望スポットがあるほか、日本最大級の大型複合遊具や広大な芝生広場などもあり、幅広い年代にお楽しみいただける公園です。

早春から5月下旬まで、途切れることなく様々な花修景がつづく“フラワーアイランドパーティー（3/19～5/29）”を開催。特に、関西最大級を誇るチューリップ花壇が見頃になる**“チューリップアイランドパーティー” 4月2日（土）～4月17日（日）**期間中は、オランダ民族衣装体験や巨人の木靴オブジェ展示など家族で楽しめる様々なイベントを実施します。

スワン号とポプラの丘



大地の虹



複合遊具 夢っこランド



ポプラの丘



お問い合わせ 淡路島国営明石海峡公園 管理センター  
〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10 TEL. 0799-72-2000 FAX. 0799-72-2100

## わが公園のこの一本

## 一庫公園の「エドヒガン」

一庫公園にはエドヒガンとヤマザクラなどの桜が自生しています。なかでもエドヒガンは群生地があり、猪名川流域に点在するエドヒガン群落の1つとなっています。

エドヒガンは「江戸彼岸」のことで、植物学者牧野富太郎によると、関東（江戸）に多く、彼岸の頃に咲くことに由来するそうです。淡いピンクの小さめの花で、萼の下の部分がぷっくり膨れているのが特徴です。ソメイヨシノの片親とされています。

園内のエドヒガンはほとんど自生で、開花期には山の中の散策路を歩いて、芽吹きはじめた木々の間から桜が楽しめます。

一庫公園の山林は一庫炭の材料のクヌギを中心とした里山で、焼き上がった炭の断面が菊割れ（菊の花びらのように見える）することから、「菊炭」と呼ばれ、お茶席用の高級品として出荷されていました。戦後炭焼きが無くなり管理が数十年滞っています。炭焼きがされていた時代はエドヒガンも世代交代が行われたようですが、最近では周りの木々が大きく育ってしまい、林床に陽が当たらず、エドヒガンの自然更新もうまくいっていないようです。そのため公園では、ボランティアグループと協働してエドヒガンの育成のプロジェクトを進めています。公園内に自生するエドヒガンから採種して実生苗を育て、林内に植える計画です。現在エドヒガンの苗が苗床ですくすくと育っています。



<エドヒガン>

<園内>

### 花と緑のまちづくりセンターだより 16号

- 平成23年3月31日（年4回発行）
- 編集発行 財団法人 兵庫県園芸・公園協会理事兼  
花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎  
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター  
TEL：078(918)2405 FAX：078(919)5186  
Eメール：info\_midori@hyogopark.com

### ～ 編集後記 ～

小誌編集中に東日本を襲った地震・津波・放射能被害は、阪神大震災をくぐり抜けた私たち兵庫県民にとっても想像を絶する甚大さで、言葉もありません。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災経験者である私たちに何ができるか、一人一人が真剣に考えていきたいですね。